

2022年 4月 14日

2021年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 アミーゴス

代表者・役職名 氏名 阿知波 直子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

障害のある人も無い人も、マラソンを通して共にスポーツのバリアフリーを目指します。

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2014年、障害者の子を持つ4家族と、立ち上げに協力して下さった専属コーチと共に発足し、学校卒業後の余暇活動の場を作り、学校時代に培った走る力を継続させることを目的として活動が始まりました。現在は、会員17名、その家族コーチを含め40名程が活動に参加しています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

障害を持っていると、本人一人では楽しみながら且つ安全に達成感を得ることは難しいのが現実です。アミーゴスの活動を通して、スポーツを楽しみ、自身も社会との繋がりを持つことが出来ます。また、障害支援の経験がない方も、この活動を通じて障害者への指導スキルをあげていくことが出来ます。互いの壁を取り払うことで、スポーツのバリアフリーが実現すると考えます。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

SNSを利用しながら、活動やボランティアコーチの募集を発信していきます。

- ・一般のマラソン愛好家の練習も兼ね、且つ障害者に触れ合いながら、障害特性等もスポーツを通して学べるように、サポートしていきます。
- ・障害児・者の保護者で、地域でこのような活動の場作りを検討している方の相談、助言をしていきます。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

コロナ禍のため、予定していた練習会は2回の実施、参加人数は、延べ40人程度となりました。練習会は22回予定していたので、9%の実施率となります。大会も中止となりました。練習会・大会参加が出来ない一年間ではありましたが、専属コーチのSNS発信により、アミーゴスの活動に賛同して下さる輪は、広がってきています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

現在の状況では、今までと同じような活動はできないものとして、新しい活動内容を模索していくことが必要になってきていると思っています。アミーゴス創設当初からの目的と、今の時代に合った活動方法を実施することで、プロジェクトの達成に少しでも近づけると考えています。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

